

1 概況

総合指数は平成22年を100として103.4となり、前年比は0.5%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は103.2となり、前年比は0.4%の上昇となった。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は101.6となり、前年比は1.1%の上昇となった。

1-1 近年の総合指数の動き

和歌山市の年平均総合指数は平成18年から平成20年まで3年連続で上昇し、その後、平成21年以降は下落傾向となったが、平成25年には5年ぶりに上昇に転じることとなった。

平成18年は、灯油価格の値上がりや、7月の税率引上げに伴うたばこの値上がりなどにより0.3%の上昇となった。平成19年は、果物の大幅な値上がりに加え、魚介類や調理食品の値上がりにより0.6%の上昇となった。平成20年は、灯油などの大幅な値上がりや、穀類、油脂・調味料、菓子類などの値上がりにより1.7%の上昇となった。平成21年は、ガソリン及び灯油価格の下落、教養娯楽用耐久財の値下がりなどにより0.6%の下落に転じた。平成22年は、10月のたばこ税の税率引上げなどに伴い諸雑費が上昇した一方で、4月から的高校授業料無償化の影響による教育の大幅な下落に加え、教養娯楽用耐久財や家庭用耐久財などが下落したことにより0.2%の下落となった。平成23年は、ガソリン、灯油価格は上昇したものの、教養娯楽用耐久財の大幅な値下がりや、家庭用耐久財の値下がりにより0.4%の下落となった。平成24年は、ガソリンに加え、電気代、ガス代が値上がりしたものの、引き続き液晶テレビなど教養娯楽用耐久財の大幅な値下がりや、穀類など食料の値下がりにより、0.1%の下落となった。平成25年は、家庭用耐久財や教養娯楽用耐久財が引き続き値下がりしたものの、灯油価格、電気代、ガス代、ガソリンに加え、自動車保険料や乗用車価格の値上がりにより、0.5%の上昇となった。平成26年は、消費税の税率引上げに伴う電気代、ガス代の値上がりに加え、近年値下がり続けていた家庭用耐久財の値上がりにより2.8%の上昇となった。

平成27年は、前年末から原油価格下落が続き、ガソリン、灯油などが値下がりしたものの、宿泊料や液晶テレビ、婦人用衣料などの値上がりにより0.5%の上昇となった。

図1 和歌山市消費者物価指数と前年比の推移

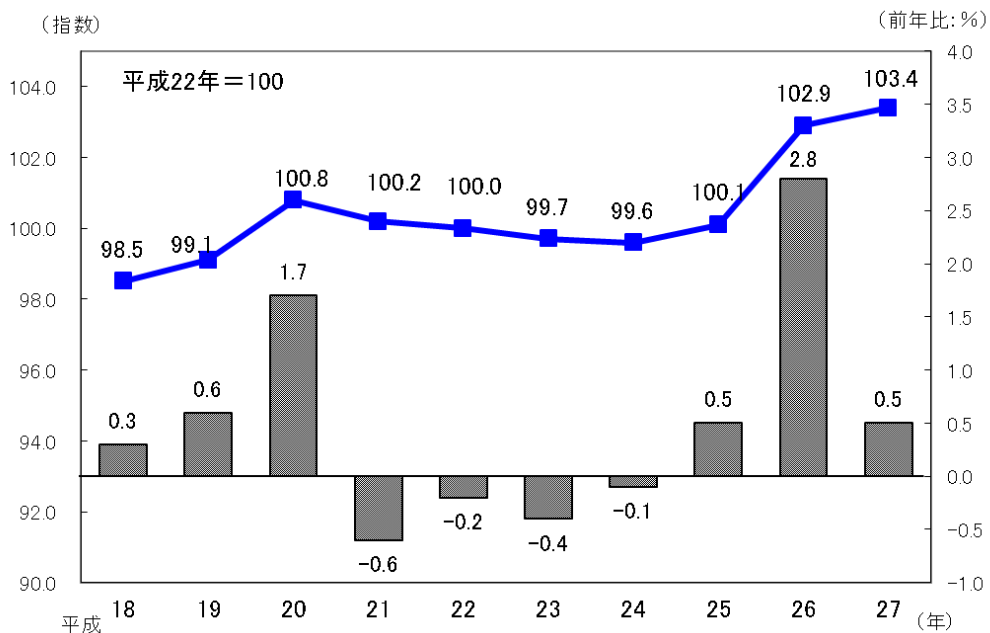


表1 和歌山市消費者物価指数と前年比の推移

年平均	総合指数 (平成22年=100)	前年比 (%)
平成18平均	98.5	0.3
19	99.1	0.6
20	100.8	1.7
21	100.2	-0.6
22	100.0	-0.2
23	99.7	-0.4
24	99.6	-0.1
25	100.1	0.5
26	102.9	2.8
27	103.4	0.5

表2 平成27年の主な項目の変化率

項目	前年比(%)
総合	0.5
生鮮食品を除く総合	0.4
持家の帰属家賃を除く総合	0.7
持家の帰属家賃及び生鮮食品を除く総合	0.6
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	1.1

註) 前年比は各基準年の公表値による。(以下同じ)

図2 総合指数の月別の動き

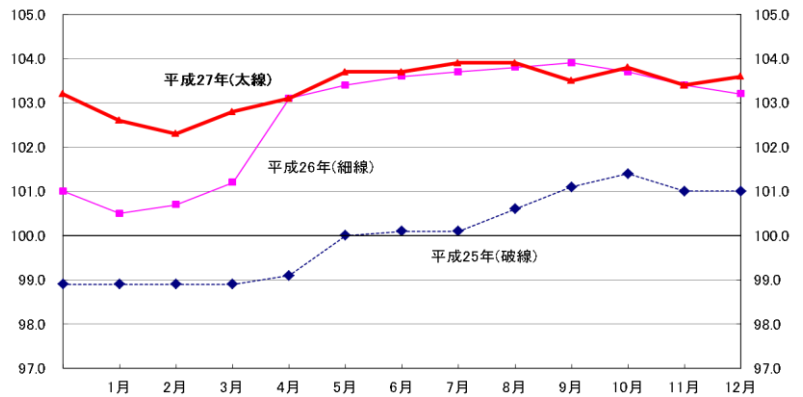


図3 生鮮食品を除く総合指数の月別の動き

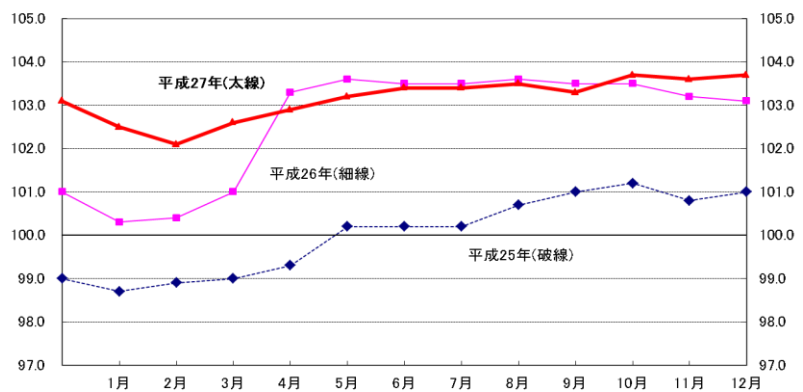
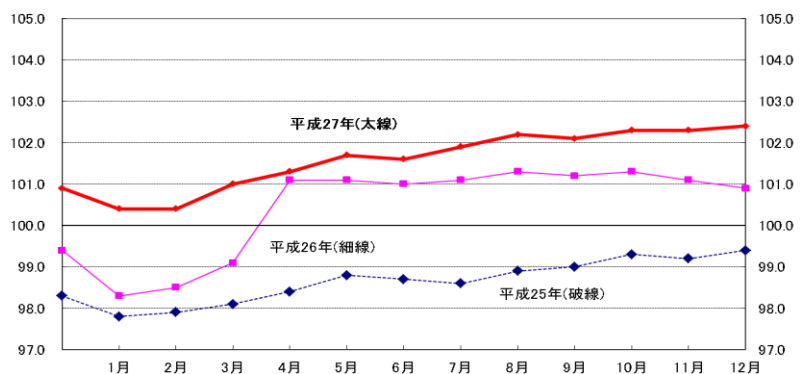


図4 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の月別の動き



1-2 10大費目指数の動き

平成27年の10大費目指数の動きを前年比で見ると、上昇したものが7費目、下落したものが3費目であった。

上昇幅が最大となったのは**被服及び履物**で、5.6%上昇した。ついで、**教育**が2.6%、**教養娯楽**が2.1%、**諸雑費**が1.1%、**食料**と**家具・家事用品**がいずれも0.6%、**保健医療**が0.5%の上昇となった。

一方、下落した費目をみると、**交通・通信**が2.0%、**光熱・水道**が0.5%、**住居**が0.1%の下落となった。

10大費目の動きを平成27年総合指数の前年比に対する寄与度で見ると、教養娯楽が0.24と上昇に最も大きく寄与しており、ついで被服及び履物、食料、教育、諸雑費、家具・家事用品、保健医療の順に上昇に寄与している。一方で、下落に最も寄与しているのは交通・通信の-0.24であり、ついで光熱・水道、住居の順に下落に寄与している。

図5 10大費目の前年比

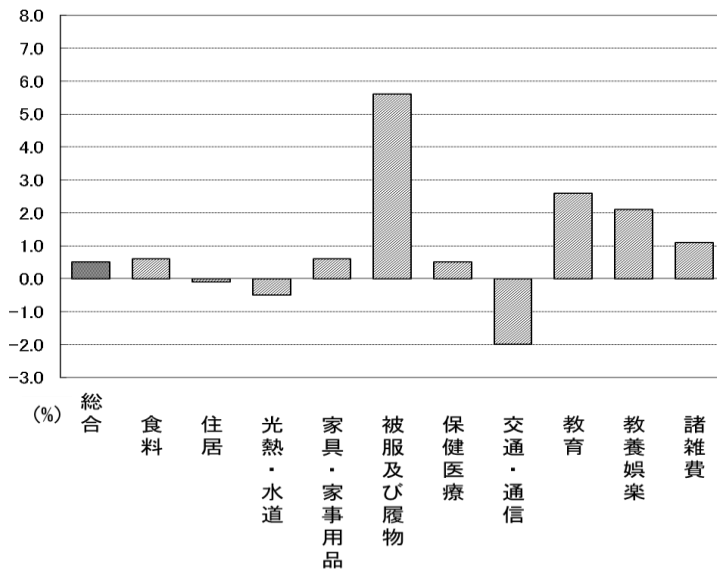


表3 10大費目の前年比及び寄与度

費目	前年比	寄与度
総合	0.5	0.49
食料	0.6	0.17
住居	-0.1	-0.01
光熱・水道	-0.5	-0.04
家具・家事用品	0.6	0.02
被服及び履物	5.6	0.20
保健医療	0.5	0.02
交通・通信	-2.0	-0.24
教育	2.6	0.06
教養娯楽	2.1	0.24
諸雑費	1.1	0.06

図6 10大費目の寄与度

